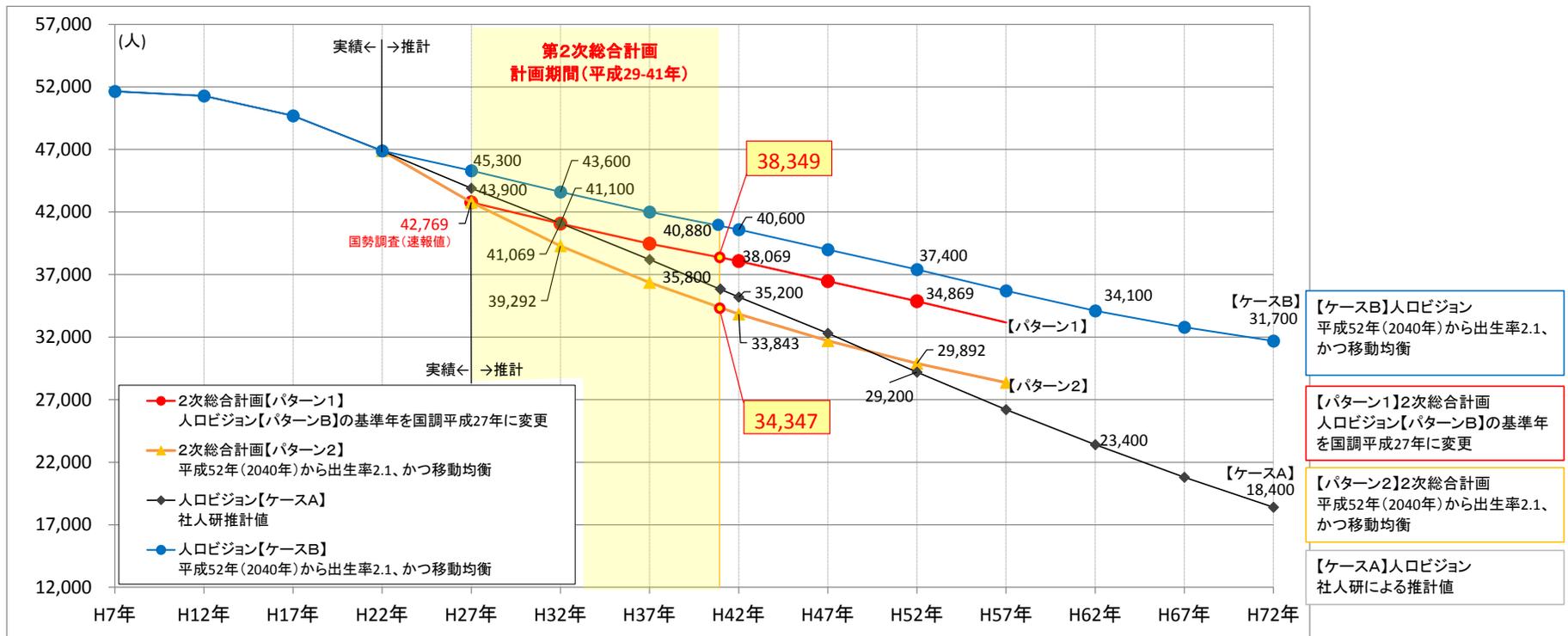


# 将来人口の推計について

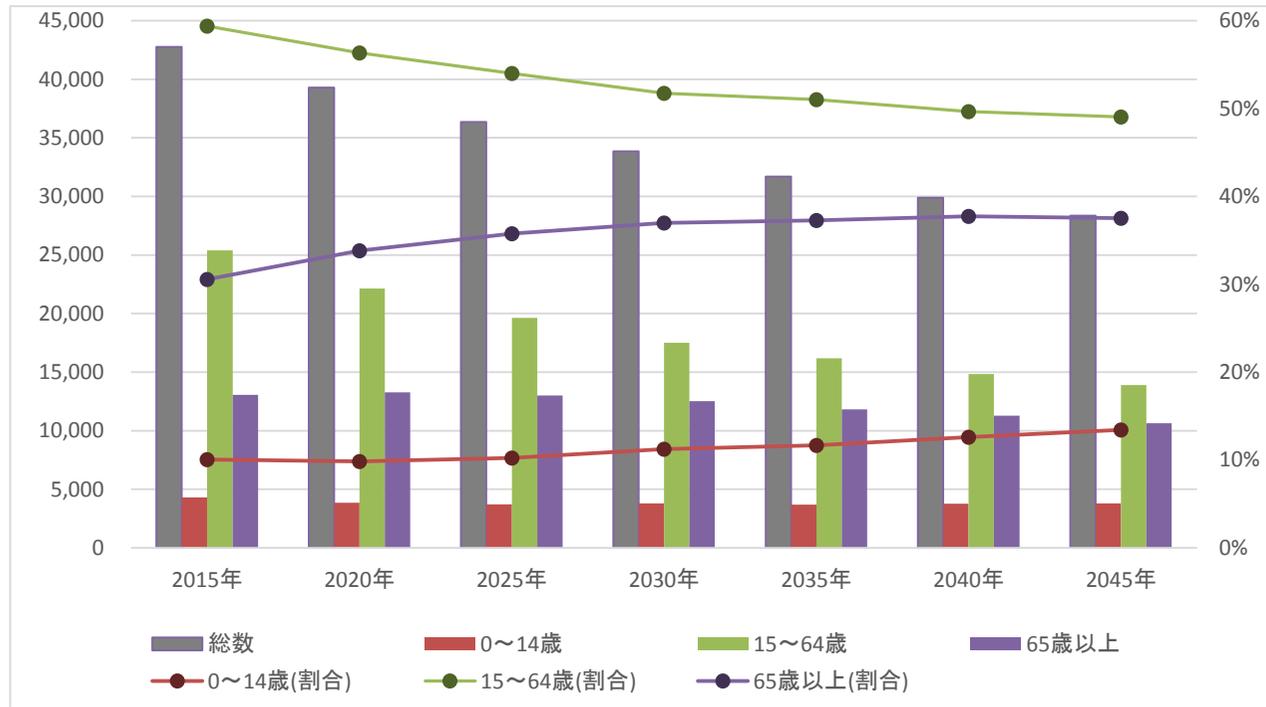
グラフ1：平成27年国勢調査（暫定値）を使った総合計画の独自推計人口と人口ビジョン推計人口



	1995	2000	2005	2010	2015	2020	2025	2029	2030	2035	2040	2045	2050	2055	2060
	H7年	H12年	H17年	H22年	H27年	H32年	H37年	H41年	H42年	H47年	H52年	H57年	H62年	H67年	H72年
人口ビジョン【ケースA】 社人研推計値				46,893	43,900	41,100	38,200	35,800	35,200	32,300	29,200	26,200	23,400	20,800	18,400
人口ビジョン【ケースB】 平成52年(2040年)から出生率2.1、 かつ移動均衡				46,893	45,300	43,600	42,000	40,880	40,600	39,000	37,400	35,700	34,100	32,800	31,700
総合計画【パターン1】 人口ビジョン【パターンB】の基準年 を国調平成27年に変更	51,652	51,284	49,689	46,895	42,769	41,069	39,469	38,349	38,069	36,469	34,869	33,169			
2次総合計画【パターン2】 平成52年(2040年)から出生率2.1、 かつ移動均衡				46,895	42,769	39,292	36,363	34,347	33,843	31,712	29,892	28,357			
出生率				1.28	1.42	1.55	1.69	1.80	1.83	1.96	2.1	2.1			
移動率(年齢5歳階級男女別平均)					-0.042	-0.034	-0.025	-0.019	-0.017	-0.008	0	0			
移動数(年齢5歳階級男女別 合計)					-1,967	-1,435	-1,034	-736	-662	-319	0	0			

※総合計画の国勢調査の数値は平成27年は速報値、平成22年は最新のものを使っています。

グラフ2：第2次総合計画【パターン2】人口3区分の推計



	2015年 (H27)	2020年 (H32)	2025年 (H37)	2030年 (H42)	2035年 (H47)	2040年 (H52)	2045年 (H57)
総数	42,769	39,292	36,363	33,843	31,712	29,892	28,357
0～14歳	4,303	3,862	3,717	3,808	3,703	3,763	3,804
15～64歳	25,399	22,141	19,639	17,515	16,187	14,848	13,907
65歳以上	13,067	13,289	13,007	12,520	11,821	11,281	10,645
	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年
0～14歳(割合)	10.1%	9.8%	10.2%	11.3%	11.7%	12.6%	13.4%
15～64歳(割合)	59.4%	56.4%	54.0%	51.8%	51.0%	49.7%	49.0%
65歳以上(割合)	30.6%	33.8%	35.8%	37.0%	37.3%	37.7%	37.5%

図1：人口推計のフロー図

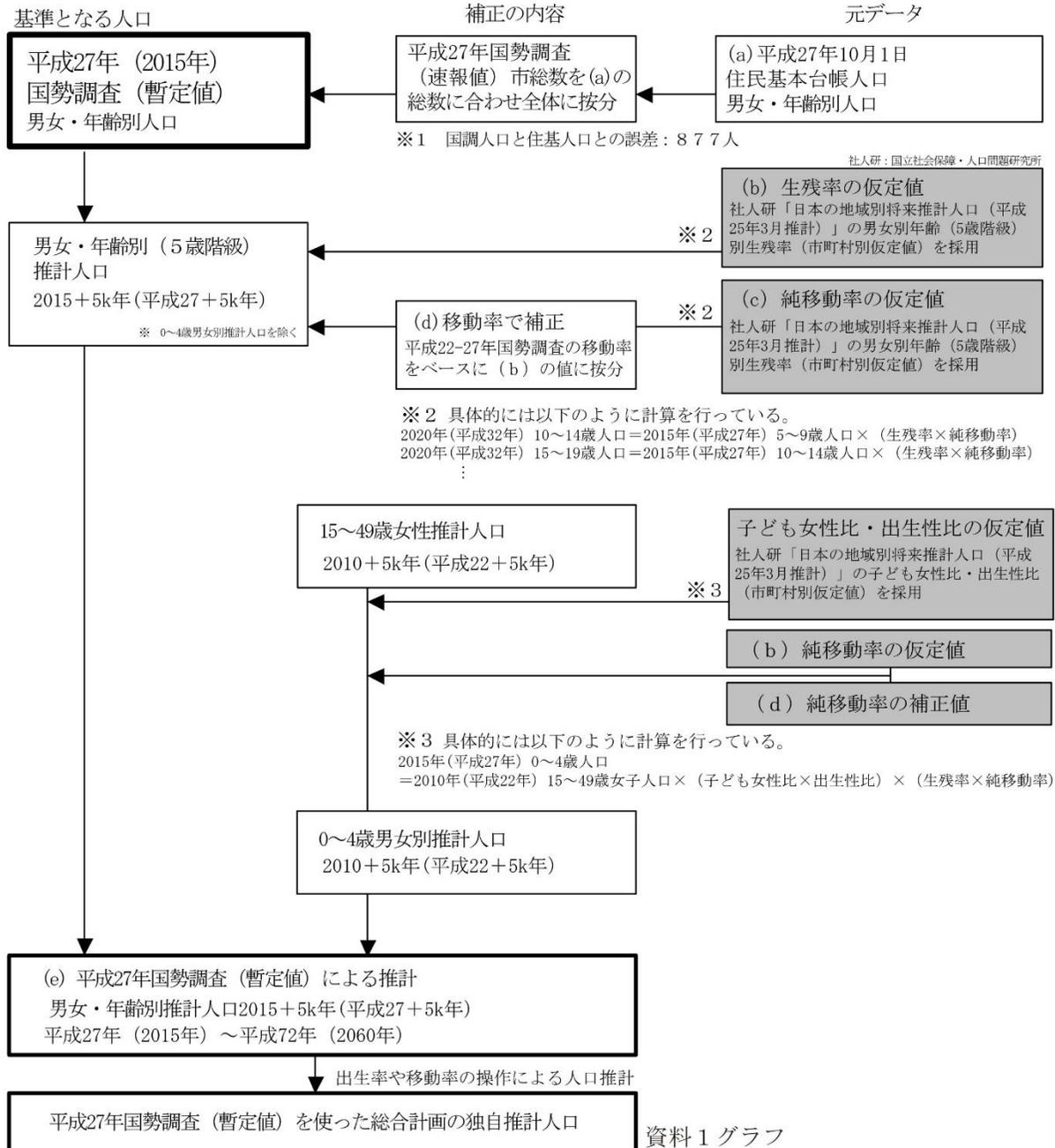


表1： いなしきに住みたくなっちゃう♥プラン 総合戦略における平成31年度までの目標(KPI)と累計目標(KGI)

基本目標	基本的な方向性	平成31年度までの累計目標(KGI)	具体的な施策		平成31年度目標(KPI)
<b>【基本目標-1】</b> 稲敷市における安定した雇用を創出 <雇用>	色々な働き口がたくさんできるように新たな企業誘致や地元企業の支援、また、市内外の就職情報をいっぱい集め、若い方々に積極的に発信するとともに、創業支援や企業の本社機能誘致を積極的に行うなど、生活の糧となる安定した収入が得られるよう、若い方々と共に、その企業も応援	150人の雇用創出	企業の本社機能やたくさんの企業を誘致して、若い方々の雇用を応援	稲敷市独自の優遇制度による本社機能誘致の推進	■本社機能移転法人数 5年間で4法人 ■新規企業及び拡張企業数 5年間で9社
				既存ストック活用による企業誘致の推進	
				税の優遇制度や助成金による企業誘致の推進	
			様々な創業支援メニューを用意して、頑張る企業や若い方々を応援	創業サポート窓口の設置や支援体制の強化	■創業セミナー受講者数 5年間で60人 ■創業件数 5年間で15件 ■創業及び新規開業に係る融資支援件数 5年間で17件
				地域資源活用による創業支援	
				事業所等開設支援制度による創業支援	
				融資支援制度による創業支援	
			稲敷市に興味を持った企業様、ワンストップで応援	ワンストップ窓口（企業誘致推進室）の設置	■企業立地及び拡張相談件数 5年間で125件 ■企業誘致ポータルサイトへのアクセス件数 平成31年度までに22,000件/年
				企業誘致ポータルサイトの開設	
			就職情報の発信や働きやすい環境を整え、女性や若い方々を応援	就労支援ポータルサイトでの情報発信と相談会の充実	■就労支援ポータルサイトへのアクセス数 5年間で45,000件
				女性が働きやすい環境の促進	
			市内の雇用が増えるよう、市内企業を応援	市内企業リレーション（連携・支援）の強化	■業訪問件数 5年間で150件 ■融資あつ旋件数 5年間で585件
中小企業事業資金融資の継続					
小規模工事等契約希望者登録制度の創設					
「実家の農業を継ぎたい！」を応援	いなしき農業講座の開催	■農業講座の受講者数 5年間で25人 ■認定新規就農者数 5年間で5人			
	青年就農給付金制度の継続				
稲敷市の基幹産業である農業を応援	農産物のブランド化・高付加価値化の推進	■茨城県の銘柄産地指定数 5年間で2件 ■農地集積面積 5年間で700ha ■ライスミルクプロジェクトによる雇用創出数 5年間で20人			
	農地の集積による農業の生産性向上の促進				
	稲敷ライスミルクプロジェクトの推進				

基本目標	基本的な方向性	平成 31 年度までの累計目標 (KGI)	具体的な施策		平成 31 年度目標 (KPI)
<p>【基本目標-2】 稲敷市への新しいひとの流れをつくり出す ＜移住定住＞</p>	<p>若い夫婦や若い家族の方々が、自分達らしい生活や三世代の楽しい生活ができるよう、マイホーム支援や、空き家バンク、三世代同居など、様々な住宅支援を行うとともに、移住定住に関する窓口の設置や情報を発信し、稲敷市へのU I Jターンや市内定住などを応援</p>	<p>■転入者数 150 人増加 ■転出者数 200 人減少</p>	若い方々のマイホーム建設・購入を力いっぱい応援	<p>マイホーム新築・購入の支援 新規の水道整備等の支援</p>	<p>■転入者・定住者数 5年間で 530 人</p>
			稲敷市は三世代同居・近居を積極的に応援	<p>三世代同居のリフォーム費用の支援 三世代近居のマイホーム新築・購入の支援 交流イベントなどによる三世代同居・近居の促進</p>	<p>■三世代同居・近居の世帯数 5年間で 60 世帯</p>
			色々なタイプの住宅を提供して移住・定住を応援	<p>空き家バンクの創設 空き家バンクの利用促進 空き家バンクリフォーム支援制度の創設</p>	<p>■空き家バンク登録件数 5年間で 20 件 ■空き家バンク成約件数 5年間で 15 件 ■転入者・定住者数 5年間で 30 人</p>
			地方で活躍したい方、生活したい方を応援	<p>いなしき型地域おこし協力隊の推進 U I J ターン創業支援制度の創設 大学生等との連携事業の推進 社宅等整備支援制度の創設 稲敷市版 C C R C の調査検討</p>	<p>■地域おこし協力隊の定住者数 5年間で 4 人 ■大学等との連携事業数 5年間で 10 事業 ■社宅等整備による転入者数 5年間で 60 人</p>
			稲敷市に住みたい方、ワンストップで応援	<p>移住定住窓口（人口減少対策室）・移住定住コンシェルジュの設置 移住定住ポータルサイトの開設 移住・定住の促進を図る P R 田舎暮らしお試し住宅の推進</p>	<p>■移住定住相談件数 5年間で 80 件 ■移住定住ポータルサイトへのアクセス数 平成 31 年度までに 20,000 件/年 ■お試し住宅の利用者数 5年間で 50 組</p>

基本目標	基本的な方向性	平成 31 年度までの累計目標 (KGI)	具体的な施策		平成 31 年度目標 (KPI)
【基本目標-3】稲敷市での結婚・出産・子育ての希望をかなえますく子育て>	未就学期や義務教育期の子育て支援だけでなく、それ以前の結婚、妊娠・出産、また、義務教育以降など、出来るだけ長い支援を行うなど、「結婚～妊娠～子育て～教育～医療」に至る一連において、子どもたちとその保護者の方々を応援	出生率 1.43 人	妊娠・出産期のお母さんを応援	不妊治療助成の拡大	■不妊治療延べ人数 5年間で 725 人■ マタニティスクールの参加率 平成 31 年度までに 30% ■妊婦健康診査受診率 平成 31 年度までに 100%
				マタニティスクールの充実	
				妊婦健康診査の実施	
				妊婦歯科健診の実施	
			やっぱり稲敷市でよかった！のための子育てを応援	わが子への未来便の推進	■乳幼児健診受診率 平成 31 年度までに 98% ■ファミリーサポートセンター利用件数 ■子育て支援センターの延べ利用者数 ■放課後子ども教室の実施校
				赤ちゃんの駅の設置・貸出し	
				乳幼児の健康支援	
				ファミリーサポートによる支援	
				子育て支援センターによる支援	
				子育て情報サイトやアプリの充実	
経済的負担を軽減し、豊かで安心な子育てを応援	放課後児童クラブの充実	■定期予防接種 接種率 平成 31 年度までに 95% ■ロタウイルス予防接種 接種率 平成 31 年度までに 80%			
	放課後こども教室の充実				
	子どもの予防接種の実施				
	ロタウイルス予防接種の支援				
稲敷市では、高校大学等まで長く子育てを応援	保育料の軽減	■奨学資金申請者数 5年間で 35 人			
	給食費や教材費等の支援				
様々な学習機会を提供して、子ども達の成長を応援	ひとり親家族の控除適用の拡大	■英語検定合格者数 小学校 5 級 5年間で 50 人中学校 3 級 5年間で 400 人 ■ジュニア防災検定合格者数 5年間で 1,000 人 ■海外派遣・受入れ人数 5年間で 100 人			
	医療福祉事業（マル福）の高校 3 年生相当までの拡大				
	稲敷市奨学資金による支援				
子育て前の出会いから、若い方々を応援	幼児期の地域交流事業の推進	■婚活事業による成婚者数 5年間で 6 組			
	英語教育の充実				
	防災教育の充実				
	体験学習の充実				
	同窓会応援プロジェクトの推進				
	出会いサポートの継続実施				
	思い出になる婚姻届・結婚祝いカードのプレゼント				

基本目標	基本的な方向性	平成 31 年度までの累計目標 (KGI)	具体的な施策		平成 31 年度目標 (KPI)
<p>【基本目標-4】 心豊かな稲敷市での暮らしをプロモーションします</p> <p>&lt;シティプロモーション&gt;</p>	<p>稲敷市の魅力を発見し、磨き、市内外に情報を発信するなど、市の認知度や愛着心を高めるとともに、地域コミュニティの活性化や地域ぐるみによる消防・防災体制の充実を図り、心豊かな安心した暮らしを応援し、住民や企業から選ばれる市を目指す</p>	<p>稲敷市に住み続けたいと思う若者の割合 50%を目指す</p>	<p>稲敷市の魅力を積極的に発信</p>	<p>シティプロモーションの強化</p>	<p>■ ホームページトップページの月間アクセス数 平成 31 年度までに 24,000 件/月</p> <p>■ SNS 等での情報発信 5 年間で 1,800 件</p>
				<p>稲敷いなすけや地域おこし協力隊による情報発信</p>	
			<p>ふるさと稲敷市の思いを大切に育てる</p>	<p>ふるさと学習の推進</p>	<p>■ ふるさと大使委嘱人数 平成 31 年度までに 5 人 (団体)</p> <p>■ ふるさと応援寄付額 平成 31 年度までに年間 1 億円</p>
				<p>ふるさと大使による稲敷市の魅力発信</p>	
				<p>ふるさと納税による稲敷市の魅力発信</p>	
			<p>イベントや茨城ゴールデンゴールズで稲敷市を盛り上げる</p>	<p>イベントによる地域の活性化</p>	<p>■ 観光客入込数 平成 31 年度までに 34 万人/年</p> <p>■ 茨城ゴールデンゴールズ後援会会員数 平成 31 年度までに 600 人</p>
				<p>茨城ゴールデンゴールズと連携した PR</p>	
			<p>地域コミュニティの活性化を図る</p>	<p>地域コミュニティの活性化</p>	<p>■ 公民館の延べ利用者数 平成 31 年度までに 80,000 人/年</p>
			<p>公民館を拠点とした地域コミュニティの推進</p>		
			<p>広域ネットワークの強化を図り、便利な暮らしを創出</p>	<p>地域公共交通網形成計画の策定</p>	<p>■ 高速バス路線数 平成 29 年度までに 2 路線</p> <p>■ 広域連携による取り組み事業数 平成 31 年度までに 2 事業</p>
				<p>首都圏への高速バスの誘致</p>	
				<p>圏央道を活用した地域活性化</p>	
<p>広域連携の推進 サイクリングによるまちづくりプロジェクト</p>					
<p>消防・防災体制を充実し、安全な暮らしを守る</p>	<p>消防体制の充実</p>	<p>■ 防災士の資格取得者数 5 年間で 30 人</p>			
	<p>災害時の食料等確保や防災施設の環境整備</p>				
	<p>防災情報システムの整備</p>				
	<p>防災組織の向上</p>				